

議事録要旨

会議名	第5回ブランド専門部会
開催日時	平成28年10月5日(水) 19:30~21:30
開催場所	あわらし役所 102会議室
出席者 (敬称略)	<p>【部会員(9名)】 福井工業大学/下川勇(准教授)、市民/五十嵐平、奥中秀尚、江畑将亨、 笹岡太久磨、あわらし/藤田由紀、松本智美、西田浩也、中島綾一、</p> <p>【オブザーバー(4名)】 大広/菱田、新島、うたみな/山中、大広北陸/渡辺(記)</p> <p>【事務局(3名)】 あわらし総務部政策課/小嶋範久(課長)、山口功治(課長補佐)、赤神貴幸(主査)</p>
欠席者 (敬称略)	<p>【部会員(2名)】 市民/吉田知奈、あわらし/堀川由貴、</p>
協議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1.ステートメントについて 2.スローガンについて 3.WEBサイトについて 4.今後のスケジュール
会議内容 の要旨	<p>(進行)事務局</p> <p style="text-align: center;">開会の挨拶</p> <p>部会長/挨拶</p> <p>先日ブランド戦略会議にてプレゼンし、大筋で「都会にはない、ぜいたくがあるまち」が認められた。一部会議メンバーからステートメントに地域性やオリジナリティが薄いと指摘があり、今回山中氏が対応したものを準備してくれています。</p> <p>1.ステートメントについて</p> <p>事務局：副市長より「都市データパック」を預かりましたがユニークな指標やランキングというのは読み取れませんでした。</p> <p>オブザーバー：ランキングによるオンリーワンやナンバーワンというものではないか、と思います。ブランド戦略会議では、ブランドメッセージは部会で決定、シンボルマークを全国公募、発表という流れに異論は出ませんでしたので、この流れで進めていきます。</p> <p>オブザーバー：戦略会議での意見を反映して、3割程度文章量アップし具体的な固有名詞を入れ、あわらしさ(地域性)を加え強調しました。</p>

議事録要旨

< 当初案 >

どこまでも広がる稲穂、ゆっくりと地平線に夕陽がしずむ。
日本海を渡ってきた風に、のんびりと風車がまわる。
おもえば「贅沢」な景色かもしれない。
食卓にはいつも、海の幸、山の幸、里のめぐみ。
こんやのお風呂は、温泉にしようかな。
これって「贅沢」な暮らしかもしれない。
おはよう。いい天気やの。いってらっしゃい、気をつけて。
みんなが声をかけあって、みんながみんなを思いあっている。
これがあわらの普通で「ふだん」だけど、
よそから見たらとても豊かで「贅沢」かもしれない。
市内のみなさん、見つめ直してみてください。
市外のみなさん、どうぞ来てみて体感してみてください。
ここはあわら市、幸福な福井県にあるちょっと贅沢なまちです。

< 10 / 5 案 >

窓を開ければひろがる稲穂、ゆっくりと地平線に夕陽がしずむ。
日本海を渡ってきた風に、のんびりと風力発電の風車がまわる。
おもえば「贅沢」な景色かもしれない。
ここは、自然のエネルギーに満ちあふれている。
食卓にはいつも、里のめぐみ、海の幸、山の幸。
トマトなら「越のルビー」を。くだものなら「フルーツライン」で。
こんやのお風呂は、温泉にしようかな。70もの源泉が沸いている。
これって「贅沢」な暮らしかもしれない。
なんだかゆったり、カラダもココロも癒される。
共働きが多くて、持ち家率も高く、子どもが多い。
「おはよう!」、「いい天気やの」、「いってらっしゃい、気をつけて」。
みんなが声をかけあって、みんながみんなを思いあっている。
これがあわらの普通で「ふだん」だけど、
よそから見たらとても豊かでとても「贅沢」かもしれない。
市内のみなさん、ちょっと見つめ直してみてください。
市外のみなさん、どうぞ来てみて体感してください。
ここはあわら市、幸福な福井県にある「贅沢なまち」です。

事務局：

・74本というのは「井戸を掘る権利」なので、すべてが使われているわけではない。
したがって沸いているという表現がまずい。

議事録要旨

- ・また風力発電という言い方は無い方が良い。
- ・固有名詞が入ると「どんくさくなる」。
- ・トマトなら「越のルビー」というのも気になる。さらに福井の白方に負けている様な気も。

事務局：

- ・こどもが多いというのは指標あるのか。こどもが元気とかの表現の方が良いのでは。
- ・体力テストは一位なので、言い切ってもよいか。
- ・フルーツラインはフルーツ感がないけど、フルーツと言い切っているのか。道路を通っているとフルーツ感は無いように思う。

オブザーバー：

- ・固有名詞が入ると、学校の校歌のように感じられる。
- ・ブランド戦略会議では、固有名詞が入ったものと入れていないものを提示して、議論を報告したい。固有名詞を入れたものの完成度を高め、見比べてもらいブランド戦略会議に諮るのが良いかと。

部会長：

- ・固有名詞は入らない方が好き
- ・源泉 74 はあわら市？ 芦原温泉街で東西南北 4 方に区切られている地域のみ（事務局）

・戦略会議で指摘されたのは、「稲穂」はあわらしさ？ 「バイオマス、自然エネルギー」「挨拶」 あわらしさが出るのはステートメント一番下の文のみ。の 4 つかと。この方向性を詰められるか。固有名詞をピックアップするのではなく、（戦略会議の指摘への）整合性を合わせるのがよいかと。

- ・新案は、固有名詞・物的要素が強すぎて、（本当は）人・空間を推したいので、（新案は）ずれていると感じる。

学識経験者：

- ・固有名詞を入れたことで「人・市民」と「モノ」「風景」がばらばらになってしまったのではないか？あわら市の当り前の風景や品物を、人の目線で描かないと。
- ・あわら市のぜいたくは特別ではないところを贅沢と思う所が起点であると思うので、品物を主語にしても（その風景を）表せないのではないか。

オブザーバー：

戦略会議では「固有名詞」を入れればオリジナリティがでるとおっしゃっていたが、我々

議事録要旨

部会が話し合ってきたのは、お金で買えないとか・数字に出来ないとか・普通の生活の質が高いという事だったので、そこが伝われば武器になると思っている。書き方の問題なのか、固有名詞を出すことが根本的に違うのか、いまはわからない。

事務局：

・固有名詞が入るとひきつけられるので、無い方がいいのかと。戦略会議では固有名詞を入れたものを検討したが、無い方が良かったというストーリーが良いと思う。

・じつは戦略会議を受けて「都会にはない、ぜいたくがあるまち」「ステートメント原案」に対して議員からは異論なく議会でも（当初案）で大丈夫とおもう。

部会員：

いまの案には違和感を感じている。普通のぜいたくとは？というところを理解できるように。海があり山があり川があり、歩いて感じる自然が贅沢と感じると思う。こういったものを自慢できるまちは少ないかと、そうすれば幸にもつながり内部的には理解を得られるし、外の方にも分かってもらえる。

芦湯程度にグレードダウンしとかなないと嘘みたいになる。三世代だから贅沢これって贅沢だと思いませんか？というストーリーかなと。

部会員：

固有名詞は無い方がすっきりしている。

部会員：

固有名詞は無い方がいい。ただ戦略会議でヒアリングしているといちどは入れないといけないと思った。入れないと戦略会議でもあわら市とわからない

部会員：

何も無いよね、でもじつは...というのが発想の始まり。だから無い方がいいかと。「稲穂」を「黄金色」などに変えるなどして（言葉の言い回しを）調整して固有名詞は入れない方がよい

部会員：

風景、食、人をまとめていただいておりますが、市外の人・市外の人が贅沢だと感じられるほどまで文章が掘り下げられていないのかと。

議事録をみると固有名詞というより「トマトおいしいよ」「カニ食べれます」など行動で掘り下げているか。

人の部分、あわらの人の良さを表せているか？コミュニティがある感じを話し合いたい。ぜいたくは平仮名で。漢字にするより何かあるんじゃないかと。

議事録要旨

部会員：

越野ルビーがあるから贅沢なのか？入れたほうが良いという意見から固有名詞を入れることで贅沢の方向性が変わってします。

あわら市とわかる様に、という意見も分かるので、ステートメントは徐々に分かっていくようにストーリーがあれば、どうか。（西日本 北陸 あわら、とわかる）

部会員：

固有名詞が入っていると贅沢の方向性が変わる。

固有名詞が入ることで、リズムの野暮ったさが出る。

いかにも付け加えました。

事務局：

想像をかき立てるスタイルから押しつけがましくなる。

体験したストーリー形式にすれば固有名詞はうまく収まる様な気もする。

固有名詞を入れるともっと長くないと伝えられないのでは？

学識経験者：

トマト畑 （市内）越のルビー、（外）野菜ある

浴衣を着る （市内）金津祭り、（外）祭ある

湖畔 （市外）北潟湖、（外）湖ある

など表現を変えることで

事務局：

固有名詞は無い方が良い、固有名詞ナシ Ver.で OK

事務局：

固有名詞はあった方が良い。最初みた時は、あわら市らしさが出たと思った。たぶん戦略会議メンバーは外に向けてブランド発信を考えているので輝いて欲しいと思っている。部会としての意見まとめによります。

オブザーバー：

（部会で考えている贅沢と）真逆の「贅沢」に取られるのは誤解されるのは良くない。

採れたてのモノ、海の幸・山の幸など漠然としておいた方が、誤解が生じなくて良いかと思う。

議事録要旨

学識経験者：

どこから観光客来るのか？これから。

関東だとするとほとんどスーパーで買う。成っている状態を訴える事は簡単には捨てられないかと。関東人またはインバウンド向けだとすると、「トマト」でもよいかと。

誰に向けたメッセージか、ということ。

普段から身近にあって当たり前風景を当り前にあるのが良くて、固有名詞を主語として語っても、それをどう表現するか

オブザーバー：

基本的に固有名詞は無い方がよいかと。固有名詞を出せば出すほど長くなって、本来の役割を果たさなくなる。西日本、北陸、福井まで分かることを考えると、四季折々の感じ、特産品はたくさんあるので、中分類、野菜・果物くらいがいいのではないかと。生活の風景は柔らかい言葉で噛み砕いていく表現が。散文のまとめ方をしつつ、北陸・福井っぽさをだせるかなど。ふたつは対極に近いので中間の気持ちいいところを探して議論出来れば。

オブザーバー：

読んだら絵が浮かぶような。

途中から絵が浮かばないような。風景とか視点はそこから来ているのかと。

オブザーバー：

この意見を伺って、目指している方向は分かったんですが、このふたつを見て貰った方がよいかと思っている。こういう（コピー）のは見てもらわないと分からないと思うので、見てもらった方がよいと思う。

表現の繊細なところニュアンスの部分なので見ていかないといけない。調整をはかります。

2.スローガンについて

さりげなく、ぜいたく。

漢字のぜいたくではなく平仮名にすることで贅沢の悪い部分を、隠れている部分を表現

ふだんが、ぜいたく。

贅沢という言葉の強さを、普段と掛け合わせました。

いい意味で、贅沢。

議事録要旨

キャッチコピーとしての強さ、漢字のエグイ感じを出して引っかかりを。

本当の贅沢、あります。

いわゆる贅沢ではなく、本当の、に中身が知りたくなる興味を喚起

お金じゃ買えない贅沢。

ストレートにプライスレスを。まちのスローガンにお金が入ることで引っかかりに。

東京やN Yにはない贅沢。

都会にはない贅沢を、強い表現で。

北陸の隠れ贅沢！

言葉のインパクトを探した。じつは、という表現。

幸福度も満足度も、沸いています。

贅沢を使わない表現。満たされているという部分を表現、外の人も中の人も。

幸福をいちばん実感できるまちへ。

贅沢を幸福に言い換え。

あわらまんぞく。（略称：あわまん）

合言葉っぽく出来ないかと。

（投票方法）

一位と次点 2 つを記入し投票。最終的に一位案と次点案が判明します。

（フリーアンサー紹介）

本当の、よりも「本物の」がいいのでは？

ステートメントが風景軸ならば、6 または 7

強い言葉を配して、沸いています、さりげなく、ぜいたく、とか。

オブザーバー：

さりげなくて力強いトーンで言うのは、どうなんだろうと思います。

事務局：

どれが来ても OK

議事録要旨

<p>事務局： あわらまんぞく / あわらという言葉が入っている点と、ステートメントを修正する必要があるが。</p> <p>事務局： 「贅沢」に引っかかりがあるので、入れば OK、</p> <p>部会員： あわらまんぞくに入れました。</p> <p>部会員： ステートメントとあわせ「ぜいたく」を入れたい 確かに江畑さん曰く、強い言葉があるといいな</p> <p>部会員： インパクトを考えると、「お金じゃ買えない」には強いイメージがある。 「まち」、という言葉が入ると良い</p> <p>部会員： さりげなく、ぜいたく。に入れたけど確かに弱いかと。あわらまんぞくが次点</p> <p>部会員： 強いものが入るといいと思う。「お金じゃ買えない」「東京や NY にはない贅沢」</p> <p>部会員： 弱いと言うけど、頑張りすぎていない「さりげなく、ぜいたく。」が良い。</p> <p>部会員： ステートメントと合っているのが良いと思い、「さりげなく、ぜいたく」をいれました。</p> <p>学識経験者： は、自分たちのことを良く分かってる、という点と語呂があってる</p> <p>部会長： 一位は 。次点：お金じゃ買えない、北陸 だと弱いので、プライスレスという点が欲しかったので「お金じゃ買えない」を、「北陸」の、に入れました。</p>

議事録要旨

長いスローガンはのは、どうかと思う。
また周囲の人たちに説明する時に、カッコつけは嫌だと思う。「東京や NY」は行きすぎかと。

オブザーバー：

10/12 戦略会議ではどこまで報告しますか。過程も含めて結果を、一個だけみせますか？

部会長：

戦略会議ではスローガンも発表しますか？ 煮え切っていない感じがします。ハッと来るのがないかと。

(得点は高いが、戦略会議ではメンバーに) どう説明して説得するか、自信が。

オブザーバー：

10/12 では山中氏に開発の意図も含めて説明してもらう方法はあります。

決選投票へ

その結果、 5 票、 3 票、 3 票

部会長：自身では戦略会議で説明するのに自信がないので、戦略会議にて、各コピー説明についてはオブザーバーが対応いたします。

3.WEB サイトについて

あわら市の「都会にはない、ぜいたくがあるまち」に対して、具体的に何を紹介していくか？

1. 「あわら未来づくりアンケート」の Q1/Q2 の回答から具体的に回答されたもの（固有名詞レベル）を抽出し、それぞれの概要をまとめた資料を作成しています。ただし、この資料はインターネット上の情報をまとめたものに過ぎず、コンテンツとするためには、さらに深い（できれば地元の人しか知らないような）情報が必要です。
2. その深い情報を知るために、専門部会員のみなさまに一次取材班として、**市役所 FB チーム「あわらんち」、観光協会、商工会**へ取材していただきたいです。
3. その一次取材結果をもとに、どういうモノ・コト・ヒトを紹介していくかという「サイトコンテンツ編集方針」を決め、さらにライターが取材すべきネタを決定して、コンテンツ制作を進めていこうと思っています。

議事録要旨

アンケート結果から出た具体資料をもとに、各協力団体へ一次取材をかけた方がよい。部会員を 市役所 FB チーム取材班、観光協会取材班、商工会取材班を編成し、みんなであつめたものを WEB コンテンツ制作へ生かしていきたい。

4.今後のスケジュール

戦略会議について

10/12 では原案と固有名詞入れ込み案ふたつを提示した方が良い。原案をブラッシュアップする方向で OK、という了解を戦略会議で承認いただければ。あとは部会にて完了させる方向に持っていければ。

閉会の挨拶

部会長：

ステートメント案は思った方向ではなかったかと。今後はスピード感が欲しいので、メール・議事録の確認など事前に済ませて、スピード感を出していきましょう。短期間で詰めた方がよいと思っているので、今後の部会運営にご協力ください。